

～週刊オン★ステージ新聞「バレエとオペラ」関連企画 IV～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 83

## 《ラ・ジョコンダ》〈時の踊り〉

会期／2021年1月26日(火)～3月7日(日)

(※休館日はwebでご確認ください)

連載／岸純信(オペラ研究家)

協力／渡辺真弓(オン★ステージ新聞編集長/舞踊評論家)

企画・構成／関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

現在、「週刊オン★ステージ新聞」(青林堂)にて連載中の「バレエとオペラ」関連企画として、常設展をシリーズ開催いたします。本展では、「薄井憲二バレエ・コレクション」から図版提供した記事と共に、実際の資料をご覧ください。第4弾は《ラ・ジョコンダ》(2020年7月24日号「バレエとオペラ」第10回)より。どうぞお楽しみください。

### ----- 「バレエとオペラ」第10回 岸純信 ----- バレエとイタリア・オペラ 《ラ・ジョコンダ》

(前略) 1876年初演の《ラ・ジョコンダ》全4幕。ボーイト(作曲家としても高名)が台本を書き、ポンキエツリが曲を書いたオペラだが、第3幕のバレエ〈時の踊り Danza delle Ore〉がとくに有名である。物語が悲惨なので、いつかの安らぎをと台本作家が発案したようだが、それが功を奏し、ポンキエツリの代表的な楽曲にもなっている。ちなみに、この〈時の踊り〉は、グラントペラ様式の特徴をイタリアが取り入れた最初期の例。(中略)

それでは〈時の踊り〉を詳しくご紹介。

設定は「ヴェネツィアの権力者がバレエを一同に振舞う」もので、約11分のシーンに歌声がほんの少し入るがほぼ全編が踊られ、導入部、モデラート、アンダンテ・ポコ・モツ、フィナーレのギャロップの4部構成になる。CMにも使われる軽やかなメロディはモデラートの冒頭部。エンタテインメントの一場なのでどう振り付けても良いのだろうが、よくあるのは「大人のプリマとロットバルト的男性」の組み合わせ。筆者が好きなのは79年サンフランシスコの映像(TV放映のみ:振付はマルゴ・サッピングトン)であり、女神(マルティーン・ヴァン・ハメル)の美麗さと夜の騎士(クリスティアン・ホルダー)の豪快なマント捌き、アルルカン(ゲアリー・クリスト)の飄々たる個性が魅了する。バレエの方々にも注目頂ければと思う名舞台である。

### ----- 世界を魅了したパヴロワの〈時の踊り〉 渡辺真弓 -----

ポンキエツリ作曲の〈時の踊り〉は、1883年、プティバがマリインスキー劇場で振付けている。夜の女王と三日月のソリストを中心に置き、朝、昼、夕、夜と一日の流れを表現。最近では、東京バレエ団やNBAバレエ団の上演が記憶に新しい。

〈瀕死の白鳥〉の名演で知られる伝説の舞姫アンナ・パヴロワも、1910年から20年間〈時の踊り〉を世界中で踊っている。こちらは、パヴロワのバレエ・マスター、イワン・フリュースティンの振付。大正11年(1922)に来日した際にも上演されているが、たぶんこれがバレエの本邦初演と思われる。東京の帝劇公演5種類のプログラムの3番目(9月18日～21日)を見ると、第3部舞踊小品の最後、7曲目に〈時の経過〉とあり、この作品が掉尾を飾っている。パヴロワとヴァリニンを芯に、おそらく12名のコール・ド・バレエが出演したのだろう。「薄井憲二バレエ・コレクション」所蔵の貴重な写真を1点お借りした。

右側のパヴロワのサインにご注目いただきたい。衣裳はコロヴィンのデザインで、素材は金と黄色のモスリン(ラッザリーニの文献の解説による)。髪を着け、にこやかに微笑んでポワントで立つパヴロワはコケティッシュで、〈瀕死の白鳥〉のはかなげな印象とは好対照。(後略)

### 出展資料

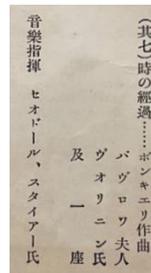
◆ PH-D-196-04 写真(署名入り) / 『ラ・ジョコンダ』より

「時の踊り」/アンナ・パヴロワ/1925年

◆ PRPAVOF-111 プログラム/東京:帝国劇場/1922年9月10-29日

◆ PRPAVHP-106 プログラム/大阪:角座/1922年10月6-10日

◆ PRPAVHP-101 プログラム/シンガポール:ラッフルズホテル/  
1922年12月



### 参考映像

◆ 《ラ・ジョコンダ》サンフランシスコ 1979年

【Opera on Video】La Gioconda

San Francisco 1979 Pavarotti Scotto

<https://www.operavideo.com/la-gioconda-san-francisco-1979-pavarotti-scotto/?list>

【YouTube】Ponchielli La Gioconda

1979 San Francisco (video subtitle)

<https://youtu.be/JtajKFxts00?t=6019>



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用